

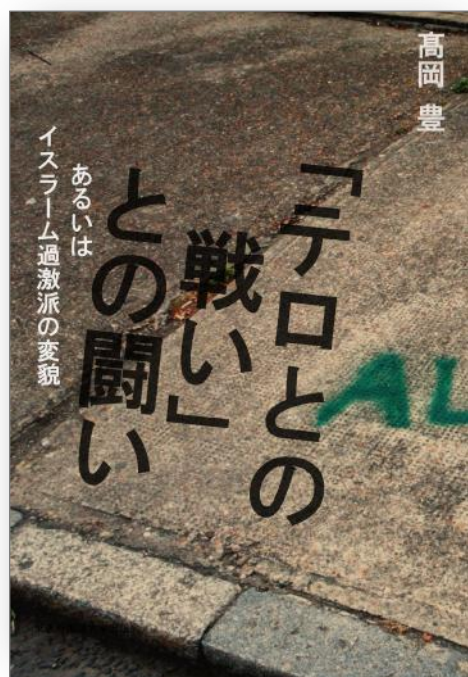
「テロとの戦い」との闘い あるいはイスラーム過激派の変貌

四六判・並製・248頁・定価：本体2200円＋税

高岡 豊【著】

恣意的に名指された「テロリスト」の実像

〈9・11〉以降、米国をはじめとする国際社会が推し進めてきた「テロとの戦い」において、主要な標的として存在し続けるイスラーム過激派。その思考・行動様式のあり方は、絶えず変貌を遂げている。



2021年8月、

アフガニスタンから米軍が撤退した---

二〇二一年八月の、アフガニスタンからの米軍撤退と、ターリバーンによる政権奪取は、米国が二〇〇一年以来進めてきた「テロとの戦い」の破綻を国際社会に印象づけた。アフガニスタン以外の地域でも、「テロとの戦い」が二〇年を経て十分な成果を上げていない現実がある。この間、その主敵とみなされ続けてきたイスラーム過激派の主体や思考・行動様式は、常に大きく変容している。長年にわたる網羅的な情報収集と定性的な分析、現地主義に徹した研究方法とリテラシーを駆使して、その実態に迫る。

【本書目次より】

はじめに

第一章 イスラーム過激派とは何者か？

---何をどのように観察・分析するか

第二章 「テロとの戦い」の顛末

第三章 質的な観察・分析が明らかにする「テロとの戦い」の実態

第四章 量的な観察・分析が明らかにする「テロとの戦い」の実態

第五章 イスラーム過激派はどこへ行く？

おわりに

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：東京外国語大学出版会 TEL.042-330-5559 FAX.042-330-5199
		冊	高岡 豊【著】 「テロとの戦い」との闘い あるいはイスラーム過激派の変貌 四六判・並製・248頁・定価：本体2200円＋税 ISBN978-4-910635-03-3 C0031 ¥2200E

ご注文はJRCへ →FAX. 03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い